

一般質問

一般質問は、6月5日、8日および9日の3日間、21人の議員によって行われました。質問は、福祉や災害対策に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



大人から子どもまで 住み続けたいなるまちを目指して

新政クラブ

風間 正子

一 子育て支援策について

平成27年度から、妊娠・出産包括支援事業を開始し、専門職が母子健康手帳を交付するが、その効果と今後の支援体制はどうか。

答 交付窓口を保健福祉センターに移すことで、専門職が早い段階から妊婦に寄り添い育児不安を解消し、継続的な支援をすることができ。今後は、産前産後サポート



専門職が母子健康手帳を交付

ト事業の具体的な検討をしていく。要望 秦野赤十字病院で助産師による産後ケアを実施してほしい。

二 公共施設の利用者負担の適正化について

問 公民館の減免制度は、形骸化していると思うが、その見直しはどうか。

答 庁内にプロジェクトチームを設置し、見直し作業を進めている。今後、減免制度のガイドライン案

子どもたちの確かな学力向上と正しい領土・歴史の認識に向けた取り組みを

新政クラブ

小菅 基司

一 全国学力・学習状況調査の結果と学力向上について

問 本市の平成26年度調査結果は、グラフの目盛りが粗く、全国平均レベルのように見える。27年度は、より見やすく、分かりやすい内容にすべきと考えるがどうか。

答 学識経験者や校長会代表などで構成する秦野市全国学力・学習状況調査結果分析・活用検討委員会を組織し、学力の傾向や分析方法を研究し、あわせて公表の内容も検討していきたい。

問 目標を設定するなど、子どもの学力向上対策はどのようか。

答 日々の授業で、教員が子どもの学力を十分に把握し、細やかな支援に努めていく中で、目標設定を検討したい。また、教員の指導力向上を目的とした研究推進担当者会の設置や、タブレットの活用などにより、子どもの確かな学力向上に努めていきたい。

二 領土教育について

問 領土教育の充実のため、平成25年度に中学校学習指導要領解説の一部改正されたが、子どもたちが正しい領土や歴史を認識するため、県教育委員会が作成した日本地図を小・中学校の全教室に掲示し、活用してはどうか。



学力向上のための目標設定を

答 園長・校長会で、県教育委員会から送付された日本地図の貸し出しを周知した。今後も、子どもたちが国際社会で生きるために必要な知識を養うことができる取り組みを検討していきたい。



赤ちゃんを安心して産み育てられる街に

民政会

阿蘇 佳一

一 選択する未来について

問 一人当たりの国の借金830万円、市の人口は2040年には2万人減る見込みだが、①市の総借金821億円、未収金43億円、身を切る改革をすべきと考えるが、

答 ①人口減少や人口構造の変化に伴い、財政状況は厳しさを増す。行革をさらに推進する。②分娩再開に向けた署名活動6万2千人、県は昭和大学と交渉を続け、市は市内に検討会を設け、最重要課題として分娩環境の整備に取り組む。

二 安全・安心で人にやさしいまちづくりについて

問 ①箱根山では火山性地震が増え、噴気活動も活発化、火山噴火に對しての備えは、②鶴巻・代々木地区のゲリラ豪雨対策は平成29年度以降としているが、緊急を要する箇所の対応は、どうか。

答 ①県西の市町で対策連絡会議

を設置し、蓑毛地区で避難訓練を実施した。②継続的な現地調査を行い、必要な補修作業をしていく。

三 都市基盤整備について

問 ①鶴巻温泉駅南口周辺の整備状況は、足湯と温泉スタンドの進捗はどうか。

答 ①平成27年度は立体横断施設の基礎工事、28年度はエスカレーターなどの工事、29年度に完成。②27年度に弘法の里湯の敷地内に足湯を整備する、温泉スタンドの設置については調整する。



安心してできる分娩環境の整備を

認知症予防対策の強化に向けたさらなる取り組みを

公明党

山下 博己

一 認知症予防対策強化について

問 認知症と疑われる高齢者は増加傾向にあるが、迷い高齢者等SOSネットワーク事業の登録者数

答 介護認定通知に案内を同封し、地域高齢者支援センター職員などによる周知も強化したい。

問 認知症サポーターの養成を強化し、地域ぐるみで支えていくことが重要であると思うがどうか。

答 重要課題として、平成27年度は2千人以上を養成していきたい。問 空き店舗などを活用し、認知症カフェを設置してはどうか。



積極的・発展的な本町地区のまちづくり施策の推進を

新政クラブ

川口 薫

一 本町地区のまちづくり施策について

問 はだのクリーンセンター周辺整備に伴う利便施設整備の進捗状況および周辺の都市基盤整備の内容はどうか。

答 利便施設は、平成29年の完成を目標としている。都市基盤整備は、都市計画道路、都市公園、水路および農道の整備を考えている。

問 県道705号拡幅事業および秦野駅前通り沿道の都市基盤整備の状況はどうか。

答 県道拡幅事業については、県で第2工区に係る測量調査の予算を確保する動きがあるため、着実に事業を進めるよう、引き続き県に働き掛けていきたい。秦野駅前通り沿道の都市基盤整備については、都市機能を集約したコンパクト型の都市形成に向け、平成28年度には事業の具体化に向けた基本構想を策定し、県道拡幅事業の進捗よく状況に合わせて、複合施設整備の事業化を図る準備を整えていきたい。

あるが、浸水被害が多い鶴巻・大根地区で効果を検証してはどうか。

答 情報収集に努めながら、調査・研究していきたい。



調整池の効果は



秦野駅前通り沿道の都市基盤整備は

インターネットで会議録の閲覧ができます

市議会では、ホームページで会議録検索システムを導入しています。本会議における一般質問、議案審議をはじめ、常任委員会や特別委員会の会議録を気軽に閲覧することができます。議会だよりでは、紙面の都合上、一般質問や議案審議の要旨のみのお知らせとなりますが、会議録検索システムでは、発言の全てを検索し、閲覧することができますので、ぜひご利用ください。

(第2回定例会の会議録は8月下旬からご覧いただけます。)



議会の傍聴にお越しください!

本会議当日、本庁舎5階傍聴席入口で、住所・氏名を記入するだけでどなたでも傍聴できます。委員会傍聴は、当日本庁舎4階議会事務局にお越しください。